



# つなかり



## 「第1回地域教育プロデューサーステップアップ研修会及び第1回情報交換会」 が開催されました。

6月29日(火)「第1回地域教育プロデューサーステップアップ研修会及び第1回情報交換会」がオンラインで開催されました。

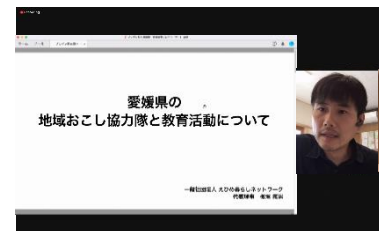
「地域教育プロデューサー」とは、

「教育に特化した地域おこし協力隊」のことで、  
**学校と地域の橋渡し役、つなぎ役として地域の教育課題に取り組む人材**  
となる方のことです。(これは、国が定めているものではなく、令和3年度から愛媛県が独自に付けた名称です。地域教育の専門・専門人材として、地域の教育課題解決や、教育の魅力化をプロデュースするなど、ワカモノ・ヨソモノの視点でより大きなフィールドでの活躍が期待されます。)(愛媛県HPより)

今回は、研修会において、「教育に携わる地域おこし協力隊の可能性について」というテーマで(一社)えひめ暮らしネットワーク代表理事 板垣義男氏と株式会社 武田林業 代表取締役 武田惇奨氏の講演がありました。板垣さんからは、地域おこし協力隊のOB、OGで、地域に定住され、地域教育に携わっておられる方々の活動について紹介がありました。

内子町の地域おこし協力隊OBでもある武田さんからは、「協力隊であるときに、地域を知り、地域の人に知ってもらい、人間関係を築くことができた。学校とのかかわりを持つことで①小中学生の感覚を知り、②教職員の様子を知り、③報道などで活動を知ってもらうことができた」と体験を語っていただきました。

情報交換会では、この事業に関心のある現役の協力隊の方、協力隊OB、OGの方、市町の担当者が情報交換を行いました。



【板垣さんの講演の様子】



【武田さんの講演の様子】



今後、県が主催するステップアップ研修会、教育事務所が主催する情報交換会が予定されています。教育に関する活動の拡充や連携・ネットワーク形成を図り、活動の定着や横展開・さらなる充実を図っていきます。

この事業の詳細については、5月11日に行われた市町等対象事業説明会の様子が下記の愛媛県のHPに掲載されています。好事例として松野町の取組も紹介されていますので御参照ください。

<https://www.pref.ehime.jp/k70500/chiikikyoku/setsumeikai1.html>